

科目名称	地域・在宅看護概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	15
担当教員	大北米香	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（看護師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

時代の変化に対応した在宅看護を展開するために、在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の目的・対象・活動の場・活動方法の特徴及び在宅看護の役割と機能について理解する。家族を含む対象者の健康とその人らしい生活を支える在宅看護について考える。

【2】学習目標

1. 在宅看護の目的と特性について説明できる。
2. 日本の在宅看護の変遷とその社会背景について説明できる。
3. 施設内看護と在宅看護の違いについて説明できる。
4. 在宅看護の対象者の特徴とその支援について説明できる。
5. 在宅看護の対象者としての家族について理解し、家族への支援について説明できる。
6. 看護の継続性の意義とその方法について説明できる。
7. 在宅療養を支える制度と社会資源の概要について説明できる。
8. 在宅療養を支える訪問看護制度と訪問看護ステーションの機能と役割について説明できる。
9. 家族を含む対象者の QOL や倫理を考慮した在宅看護について、自己の考えを具体的に述べるができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	地域・在宅看護とは 地域在宅看護の実践の場 地域・在宅看護の背景	講義
2	地域・在宅看護の対象とその暮らしを支える看護	講義
3	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用(1)	講義
4	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用(2)	講義
5	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用(3)	講義
6	訪問看護の実際	講義
7	訪問看護の制度	講義
8	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験 85%，提出課題 15%で総合的に評価する。

【6】教科書

川原加代子：系統看護学講座 専門分野 在宅看護論(1) 地域・在宅看護の基盤（第7版）医学書院 2026（電子版）

【7】参考書

臺 有桂 他編：ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア（第7版）メディカ出版 2025
 上別府圭子：系統看護学講座 別巻 家族看護学（第2版）医学書院 2026
 池西静江編：看護学生スタディガイド2027（第13版）照林社 2026

【8】受講生へのメッセージ

時代と共に変化し続けている在宅看護とそれを支える社会資源、家族を含む対象者の健康とその人らしい生活を支える在宅看護の基本的な考え方について学びます。